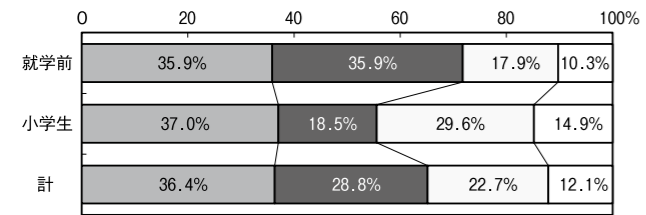


育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか？



□利用する必要がなかった ■利用した □利用しなかったが利用しなかった □無回答

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか？
【複数回答】

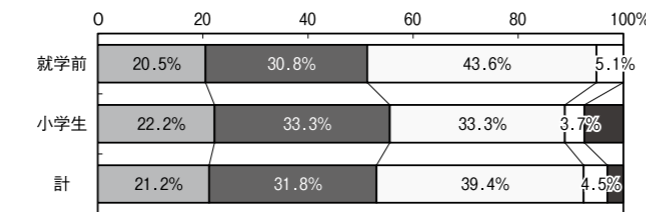
	就学前	小学生	計
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	3	6	9
仕事が忙しかった	3	4	7
短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	4	0	4
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	0	0	0
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0	0
配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	1	2	3
子育てや家事に専念するため退職した	0	0	0
職場に短時間勤務制度がなかった	0	0	0
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	1	3	4
その他	0	0	0
	7	8	15

弟子屈町は基本的に、フルタイムで働きたい母親については働きにくい環境。祖父母がいないとフルでは働けない。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか？

	就学前	小学生	計
育児休業取得後、職場に復帰した	72.2%	90.0%	78.6%
現在も育児休業中である	16.7%	-	10.7%
育児休業中に離職した	3.7%	6.7%	4.8%
無回答	7.4%	3.3%	5.9%
	100.0%	100.0%	100.0%

育児休業から職場復帰したのは、お子さんが何歳何カ月のときですか？



□6カ月未満 ■6カ月～1歳未満 □1歳～1歳6カ月未満 □1歳6カ月以上 ■無回答

実際に職場に復帰したときの子どもの年齢は「1歳～1歳6カ月未満」が最も多く、次いで「6カ月～1歳未満」希望する復帰時期は「1歳～1歳6カ月未満」「1歳6カ月以上」が多かった。

子どもが病気の時、どうしても休みを取りづらく、すぐにつけつけないこともある。

子どもが病気の時などは保護者が仕事を休むのが当たり前となるような、理解のある職場が理想だと思います。

子育てをしながら働ける環境がもっと整備されてほしいと思います。企業努力により、勤め先でそうした制度(産・育休、時短)を設けることは、小さな会社では困難なことだと思うので、町や国がそのような事務所を支援することが必要なのではと思いました。

自由回答から(一部抜粋)

あなたの意見が子育て環境を あつくる

子育て支援に関するニーズ調査の結果をお知らせします

—子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて ②—

町では、子ども・子育て支援法に規定される「子ども・子育て支援事業計画」策定への取り組みを進めています。

策定に先駆けて、町内の保育・教育ニーズを含む子育て支援に関する潜在的な需要や、子育てに関する保護者の皆さんの意識などを把握するため、アンケート調査を実施しました。(調査期間/平成25年12月12日～平成26年1月15日)

調査結果がまとまりましたので、先月に引き続き、内容の一部を紹介します。

▶調査対象・回収数・回収率

- ①町内居住の就学前児童/372人→224人(60.2%)
- ②町内居住の小学校児童/371人→218人(58.8%)



お子さんが生まれたとき、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか？【複数回答】

育児休業の取得(母親)	就学前	小学生	計
働いていなかった	49.5%	63.3%	56.4%
取得した(取得中である)	24.1%	13.8%	18.9%
取得していない	22.8%	19.7%	21.3%
無回答	3.6%	3.2%	3.4%
	100.0%	100.0%	100.0%

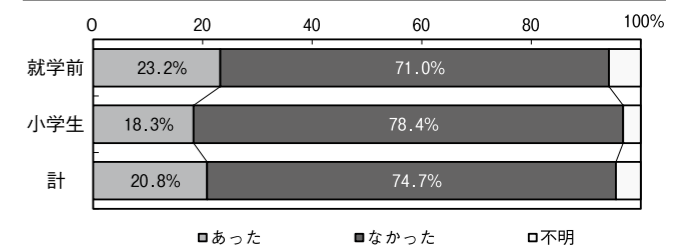
育児休業の取得(父親)	就学前	小学生	計
働いていなかった	2.2%	1.4%	1.8%
取得した(取得中である)	-	-	-
取得していない	82.6%	83.5%	83.0%
無回答	15.2%	15.1%	15.2%
	100.0%	100.0%	100.0%

母親が育児休業を取得していない理由は「子育てや家事に専念するため退職した」が最も多い。

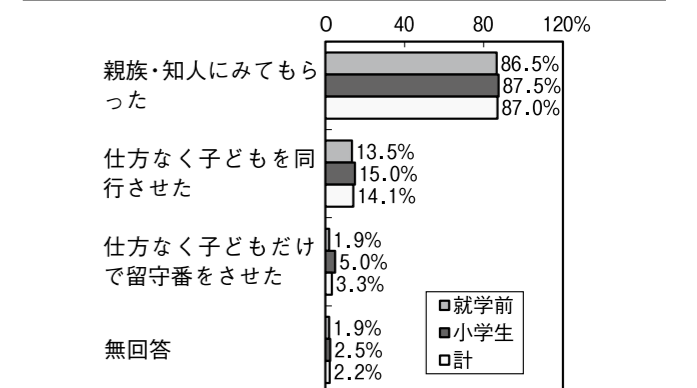
2位以降は、就学前では「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」、小学生では「その他」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「仕事が忙しかった」の順となっている。

父親が育児休業を取得していない理由は「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の順となっている。

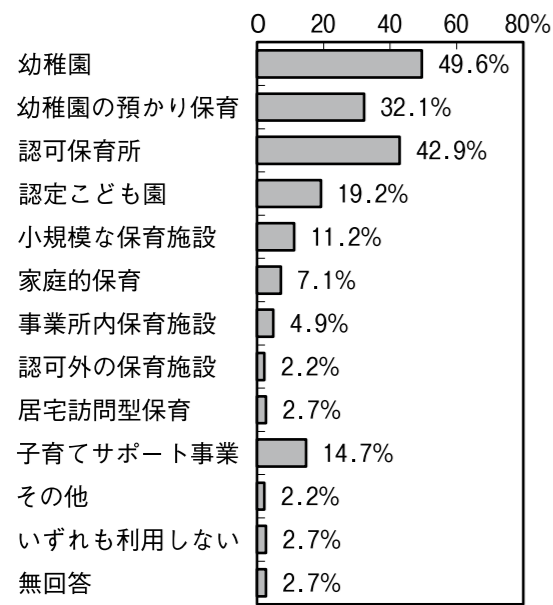
この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか？



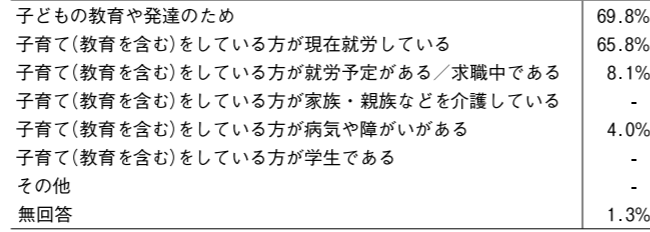
上記のような状況があった場合、対処方法は？
【複数回答】



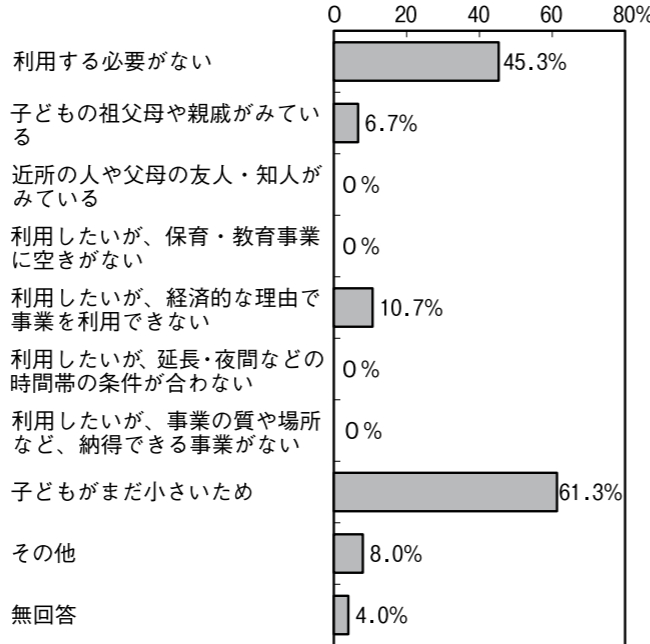
現在利用している、利用していないに関わらず、お子さんの平日の教育・保育事業として「定期的」に利用したい事業は何ですか？【複数回答】



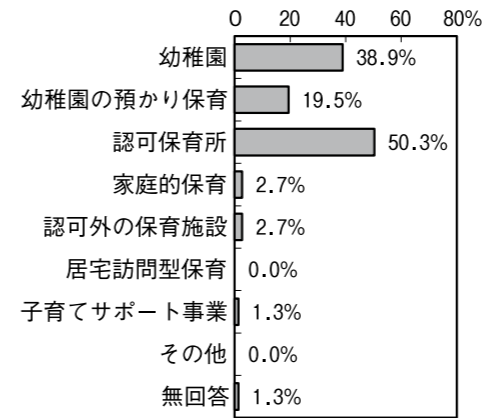
平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか？【複数回答】



平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか？【複数回答】

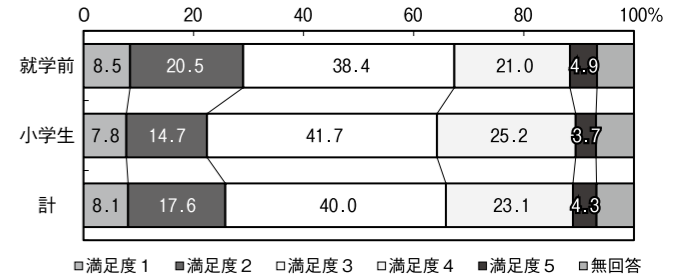


お子さんは平日、どのような教育・保育の事業を利用していますか？【複数回答】

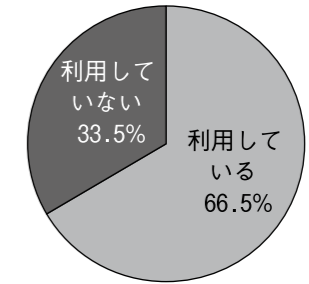


教育・保育事業の利用日数は「週に5日」が最も多い。認可保育所では「週に5日」が71%、「週に6日」が24%。幼稚園の預かり保育のみを利用している子どもは5人。そのうち4人が「週5日」利用している。1日当たりの利用時間は「8～9時間」が最も多い。認可保育所では8時間以上が75%。教育・保育事業の希望利用日数は「週に5日」が最も多い。認可保育所では「週に5日」と「週に6日」に分かれている。1日当たりの希望利用時間は「8～9時間」が最も多い。認可保育所では「10時間」とする回答も多くみられた。

本町の子育ての環境や支援への満足度を教えてください。



お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか？



一時保育があればよいと思う。

子育てサポート、利用できる時間帯や対応できる人の数を多くするなど、制度の充実を。

子育てサポートもよいのですが、日頃通っている子育て支援センター「ひなたぼっこ」内で、ひなたぼっこ解放時間内での一時預かりをしてもらえたらいい。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。
来月も、内容について紹介します。

保育園に併設された、病児保育のできる場所があると助かる。

子育てに関する支援などの情報が少ないし、認知されるほど広まっていない。分かりづらい、どこでやってるのかも分からない。

保育園は募集が分かりにくく、保育料も収入に合わせてとはっきりしてなくて、預けたくても分からないことが多過ぎる。年間の予定表や、各家庭に合ったサービスの情報を送ってほしい。

親が下の子の面倒を見ていても、上の子が保育園に入れるようにしてほしい。

土曜保育を17時までやってくれているのは大変ありがたいが、仕事をしている親限定は厳しい。上の子の教育などのために時間がほしいときもある。

認可保育園に入れたいが、保育料が高過ぎる。

保育士の人数が少ない。

私立幼稚園しかないのが残念。

保育ママについても、もっと情報提供してほしい。

幼稚園の先生の人数が少なく感じる。

自由回答から(一部抜粋)

問い合わせ先/役場福祉こども課児童福祉係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 1 (課直通)